

### 第3回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会 議事録

- 1 日時 平成30年3月9日(水) 午前10時～午前11時15分
- 2 場所 つくばみらい市役所 教育委員会庁舎2階 会議室
- 3 出席委員  
委員長 中島 正志  
副委員長 直井 光一  
委員 染谷 礼子  
委員 久下 伸子  
委員 布袋田 葵  
委員 深作 志乃  
委員 町田 幸子  
委員 斉藤 一  
委員 井波 進  
委員 張谷 昌彦  
委員 光岡 恵子
- 4 出席職員  
教育長 福田 敏男  
学校教育課 課長 飯泉 勝宏  
課長補佐 天神 信光  
係長 坂本 和生  
係長 長岡 秋訓
- 5 コンサルタント 株式会社都市環境計画研究所
- 6 傍聴人 1名
- 7 議事 (1) アンケート調査の結果について  
・わかくさ幼稚園・すみれ幼稚園の再整備について  
・通園バスについて  
(2) 整備手法について

## 第3回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会

### 議事録

事務局： 1. 開会

おはようございます。定刻となりましたので只今から、第3回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会を開会いたします。

はじめに、2月28日付けで高木議長が退任し、新たに染谷議長が就任したことにより、委嘱状の交付を行います。

事務局 2. 委嘱状の交付

【教育長による委嘱状交付】

事務局： ここで、平成29年12月31日付けで石川委員が、自己都合により辞職いたしましたことをご報告いたします。

事務局： 3. 委員長あいさつ

次に委員長あいさつです。中島委員長よろしく申し上げます。

中島委員長： 皆様おはようございます。ご多忙の中会議にご出席いただきましてありがとうございます。今回、わかくさ幼稚園、すみれ幼稚園の再整備計画ということで、前回の会議に基づきましてアンケート調査をいたしました。その結果を踏まえて今回の会議ということになります。どうぞよろしくお願いたします。

事務局： 4. 議事

これより議事に入ります。この会議は、つくばみらい市審議会の会議の公開に関する指針に基づき、傍聴が可能であり公開となります。また、議事内容は議事録にまとめ、市ホームページ上にて公開させていただきますのでご理解願います。それでは、委員会が円滑に進むよう、ご協力をお願いします。議事進行につきましては、議長は要綱第6条第1項により委員長がつとめることとされています。中島委員長よろしくお願いたします。

委員長： それでは、要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。早速、次第に従いまして、会議を進めてまいります。

議事の「(1)アンケート調査の結果について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局： アンケート調査の結果についてに入る前に、第2回検討委員会でご意見がございました件についてご回答させていただきます。

「子どもたちの安全確保のため、市の他の施設を一時転用できないか」というご意見

につきまして、現在市の公共施設は他の用途に転用できる施設、あるいはまとまったスペースが確保できる施設が無い状況です。公民館・コミュニティーセンターなどは、生涯学習活動やコミュニティ活動の場として既に利用されておりますので、現実的に複合的な利用は難しい状況となっております。

続きまして、「部分的補強など、できるだけ早く耐震補強で対応してほしい」というご意見ですが、部分的な耐震については、木造住宅においては、地震災害時に生存できる空間を確保するため、そういった事例はあるものの、抜本的な倒壊を防ぐものではございません。園児が生活する幼稚園においては、あくまでも建物全体の耐震を図ることが必要と考えておりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

続きまして、「当面の災害に対する考え方を示してほしい」というご意見につきましては、当面の危機管理として市の防災計画に基づき、園児の安全を確保するための初動体制を整えております。両園とも災害時の想定をした避難訓練等を実施しております。すみれ幼稚園においては、教職員で避難経路等を共有して安全の確保をしております。わかくさ幼稚園においては、まずは身の安全を守り、状況に応じてグラウンドへ避難して、園児の安全を確保することを確認しております。

続きまして、「使い勝手の悪さが変わらなければ、耐震補強及び再整備をしても意味が無いのではないか」というご意見につきましては、園児の安全確保の観点からは耐震補強も選択肢の一つとして考えております。委員の皆様には、アンケート調査の結果など受けながら引き続き協議をお願いしたいと考えております。

続きまして、「他の自治体ではどのように対応しているのか」というご意見につきましては、それぞれの自治体によって前提となる状況は様々であり、一概にこの手法がつくばみらい市に適合する、あるいは整備が可能というところまではお示しできませんが、事例としては、これまで検討してまいりましたケースに対応する内容を参考としてまとめたものを配布させていただいております。カラーで印刷された参考資料をご覧ください。こちらは第2回検討委員会において資料として配布いたしましたものを、概要版としてまとめたものです。

それでは、議事「(1) アンケート調査の結果について」ご説明いたします。資料1をご覧ください。

— 説明省略 —

委員長： それでは続きまして「(2) 整備手法について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局： 「(2) 整備手法について」ご説明させていただきます。今お手元にお配りした資料は、第2回検討委員会での資料を参考にしたものです。アンケートの結果では耐震補強は2園とも多い結果になりましたが、委員の皆様のご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長： 只今お配りいただきました資料には、再整備の手法ということで、いくつかのパターンでの解説があります。それぞれにつきまして見ていただいて、ご意見をいただき質疑応答の時間にしたいと思います。よろしくをお願いします。

委員： 幼稚園児の人数が減ることを見越すと、2園それぞれを今の状態で残すことのメリットを最大限生かせないかと思いました。グラフを見ると5年後でも園児が100人程減る計算になります。そうすると、今のわかくさ幼稚園のキャパシティですみれ幼稚園の園児も一緒に受け入れられるようになります。小学校跡地を利用するという案も良いと思いますが、わかくさ幼稚園を生かすのであれば、わかくさ幼稚園をまず建て替えてしまい、すみれ幼稚園は耐震補強のみで少しの期間耐えていただき、人数が減って受け入れられる状態になった時に、わかくさ幼稚園に統合するというのはいかがでしょうか。

委員長： 今のご意見ですが、事務局ではどのようにお考えですか。とりあえずわかくさ幼稚園をしっかりと建て替えて、すみれ幼稚園は耐震補強で一時しのぐ、そして幼稚園児数の推移を見て、わかくさ幼稚園に統合するという方向も1つの案ではないかというご意見でした。もしそれに対応する何かあれば、ご意見として伺っておくということでもよろしいかと思います。

事務局： ただ今のご意見ですが、私の方で即回答ということは少し難しいところです。今回このアンケート調査結果を皆様にご報告した上で、今後検討していきたいというところですので、ご意見として伺っておきたいと思います。

委員長： 提言として今後の対応に反映する、ということでよろしいでしょうか。その他ご意見いただきたいと思います。

委員： 事務局の方から見て、予算、これからの耐震の面、さらに考えられる問題点等から、一番勧められるパターンはどれだとお考えですか。

事務局： パターン1とパターン5のすみれ幼稚園わかくさ幼稚園共に耐震補強というのは、一番早く工事が可能です。ただ、それだけで良いのかという部分もありますので、これは耐震補強ということで明記しておりますが、やはりその中で色々考える部分があるのかと思います。

委員長： パターン1、パターン5というのが1つ見えますけれど、今後の推移で色々検討していきたいということですね。よろしいでしょうか。

委員： はい、ありがとうございます。

委員長： その他にいかがでしょうか。

委員： 山王新田の第一保育所と、それから小張にある第二保育所が、両方とも耐震補強が完

了しました。同じく木造の造りで、既に 40 年以上経っている建物ですが、殆ど新しいものと変わらないぐらい綺麗な保育園になりました。ここのパターン 1 に書いてある耐震補強のみでは、完全に対応しきれないとありますが、これは具体的にはどういうことですか。

委員長： 事務局のほうで、このパターン 1 の耐震補強のみでは現在の課題に完全に対応しきれないという根拠をお願いします。

事務局： 耐震補強のみですと、わかくさ幼稚園の場合、元々は中学校の造りであるということがあり、そういう部分の改修、最低限でもトイレや床天井は耐震以外でも補修が必要になってくるところです。すみれ幼稚園は特に床が浮いてしまっているところがありまので、耐震以外にも修繕が必要な箇所があるということです。

委員長： よろしいですか。その他、今後の進め方になりますので、細かいことでも結構ですのでご意見を頂ければ有り難いと思います。

委員： 今のお話しの続きですが、耐震だけでは対応しきれないものがあって、小規模な改修ですと、やり直しが必要になってくるのが考えられるということですが、そういった場合に、費用はどのぐらいになるのか算出されていますか。

事務局： 費用的には最大になりますと、パターン 2、パターン 6 という形になります。ただ、ここまでかけると、全く新しいような形になってしまうのと、費用的な部分で、すぐには取りかかれないという懸念がありますが、最大で今そこまでかければ耐震と十分な改修が可能かと考えます。そうしますと、パターン 3 とほぼ金額的には変わらなくなってしまいます。

委員長： パターン 2、パターン 6 という形になると、ほぼパターン 3 とか、そういうものと同じような状況になってくるというお話でした。よろしいでしょうか。

委員： 委員のメンバーの中には、すみれ幼稚園とわかくさ幼稚園の園長先生もいらっしゃいます。地震災害の時について、今こうして話し合いをしているのですが、幼稚園の教育活動としては、今の園舎はどのような使われ方をしているのか、というのを聞かせていただければ有り難いと思います。

今までの流れでいくと、すみれ幼稚園は幼稚園として設計されておりますが、耐震性が低いという観点があるということ、わかくさ幼稚園は元々中学校だったものを再利用して今に至っているということでした。幼稚園としての使い勝手や、何が教育活動の支障になっているのかについても、ある程度考えていく必要があるかと思えます。そのようなことがあれば、園長先生にお願いしたいと思えます。

委員長： 各園においてどのような状況であるかをお伺いしたいと思います。すみれ幼稚園のほ

うからよろしくをお願いします。

委員： 先程床が浮いているというお話が出ましたが、まさしくその通りで、床がひどく、また雨漏りもします。雨漏りはその度に修理をお願いしているので、今のところは大丈夫ですが、心配なのは漏電です。色々なところから吹き込んできている状況なので、その度に雨漏りするところが違ってきています。できればすぐにでも耐震補強していただき、子どもたちが安全な状況で学べる、保育ができるようにしていただきたいと思います。ただ、保育の内容としては、先生方はそれぞれ工夫を凝らしながらやっておりますので、それほどの支障は無い状況です。

また、園児数が減ってきているという状況もあります。何故減っているかといいますと、一つの理由として、今は共働きの家庭が多いことがあります。子どもたちが幼稚園にいる時間帯というのは、午後2時までなので、保護者もできるだけ保育園に入れたいという希望があり、幼稚園の園児数が少なくなってきているということもあるのかと思います。みらい平の地区には私立の保育園が増えていきますし、幼稚園もあります。

私の考えとしては、とりあえず耐震補強をやっていただいて、子どもたちが安全な状況で過ごせるということ、これがまず第1です。その後は、認定こども園の方向に動いていただいではどうかと考えています。谷和原の方は建て替えた幼稚園が1つあるので、伊奈の方も建て替えていただきたいと思います。例えば、わかくさであればわかくさを建て替えて、認定こども園としてやっていただければ良いかと思います。そうすると、幼稚園としても保育園としても存続ができるし、保護者の人数も増えるかと思います。

今、みらい平の地区の家はかなり増えています。小さい子どもたちも多く、9時半ぐらいに通ると、子どもと親が沢山集まっているのを見ます。路上に車を停めて子どもたちを乗せているということで、地域の方から苦情が来ているということがあるようです。谷和原幼稚園では、そういう苦情があると、保護者の方に路上駐車をやめてくださいとお願いをするようですが、実際には、車を停める場所が無いそうです。そういうこともあるので、まずは耐震をやって、将来的には認定こども園としてやっていただくと良いのかなと思います。

委員長： ありがとうございます。ではわかくさ幼稚園のほうもよろしくをお願いします。

委員： わかくさ幼稚園は元々中学校だった場所で、資料を見ますと築60年、建物も木造の平屋ということで、園庭がとても広く自然豊かなので、子どもたちが毎日のびのびと広い園庭の芝生の上で活動できる、交流できるという点はとても良いと思います。それぞれの教室が古い校舎なのですが、先生方は子どもたちが楽しく生活できるように色々な環境面の工夫もして、毎日生活している状況です。

あとは毎日生活しているところで改善が必要だと思うところは、挙げれば沢山ありますが、元々中学校だったので、いたる所に段差があります。トイレへ行くのにも、階段

を降りて、渡り廊下があって、雨風が吹き込むような所を渡って次の学年の棟へ行くと、そこにも階段、段差が2段あるという状況です。そういう通路等の改善、子どもたちの安全性というところもまずあると思います。

それから先程言いましたがトイレ。今の子どもたちが公衆で使うのは殆どが水洗の洋式だと思うのですが、そういうものも十分にありません。冬場には、水洗の水が凍ってしまって、水が出ないことがありました。今年はとても寒かったので、あれには驚きました。水が出る水道から水を汲んできて、子どもたちが終わる度に水を流しているという状況でした。職員用のトイレも途中で水が出なくなりました。生活発表会の時に、保護者の方が沢山いらっしゃって、今時トイレが凍る幼稚園があるのかと驚かされていました。そういう整備も必要だと思います。

それから、木造の建物なので、どうしてもすき間があるので、風と砂の吹き込みがあって、風の強かった日の次の日には、廊下などを皆で一斉にモップがけをしたりして、掃除をしなければなりません。当然子どもたちの活動に支障をきたす部分があると思います。

それから、来年から給食センターの給食で、多少今までとは違って沢山のものが搬入されるという話を聞いていますが、給食の受け入れ場所等も上手に工夫していただかなくてはなりません。コンテナを使って沢山の物を運ぶのに、段差があるので途中までしか運べません。コンテナでそのままずっと廊下を伝って末端の場所まで運べない状況があります。そういう状況も改善が必要だと思います。

そして、この前照度検査があった時に、年長さんの教室が暗くて、これでは照度が足りません、というお話もありました。普段、天気の良い日は良いのですが、今日のような暗い日だと、どうしても照明の照度が足りないので、そういう改善も必要になってくると考えています。

改修の方法のところに戻りますと、耐震補強だけでは十分な子どもたちの活動を確保できないので、このパターンで言うと、パターン2か、あるいは3のほうに移行していくのではないかと思います。場所的には他の園に無いような、茨城県でも一番大きく広い施設なので、あの場所を有効に活用して、新しい幼稚園が出来上がれば、とても素晴らしい幼稚園になるのではないかと思います。

委員長： それぞれ園の抱える課題を出していただきました。その他ご意見いただければと思います。

委員： パターン1とパターン5が「耐震補強」となっていますが、パターン2とパターン6は「大規模改修」というのがプラスされて、額もかなり大きく変わっていると思います。今のお話で出ました、床・天井・トイレなどの修繕、それから大規模でなくても早急に直してもらいたいというところだけを小規模改修するというようなパターンを出すことはできないのでしょうか。

事務局： やはり使い勝手の部分もありますので、今の園長先生方のトイレのお話のように、皆様のほうから、ここはこうしたほうが良いというようなご意見をお聞きしたいと思っています。大規模にするか、何もしないか、というような提案で、皆様には戸惑いがあるかと思いますが、ある程度の部分を改修しながら進める方向についても、国からの補助金でどこまで対応できるのかということを考えながら進めたいと考えています。ここでは耐震にするか、大規模改修にするか、耐震かつ大規模改修にするか、というパターンの話をしておりますが、今のような中規模や小規模な改修というのは無いのかというご意見もあるかと思いますが、今のところそういったケースはありませんが、ただそれが該当するかを当てはめながら改修できれば良いかと思っております。

委員： 実際に携わられている先生方や保護者の方の意見で、これは大事だ、直した方が良い、というところだけでも、というのが一番メリットが大きいのではないかと思います。

委員長： ありがとうございます。その他にはいかがでしょうか。

委員： 今のお話を伺いまして、やはり早急に改修しなければならないところは改修しながら、将来的にどのような形に持っていくかということ話し合っていくべきかと考え始めたところですがいかがでしょうか。

委員長： 早急に対応するべきところと、長期プランというか、少し長い目で見て対応するという、両面だというお話ですが、いかがでしょうか。

事務局： まずは今、目の当たりにしている、当面のやらなくてはならないものを確定していくことが必要かと思いますが、最終的には委員のご意見のような、長期的な部分も必要になってくるかと思いますが、長期的なものになりますと、人口の推計だとか色々なことがございますので、またそれは別の課題として捉えていきたいと考えております。つきましては、今後幼稚園をどのようにやっていくかというのを第一に考えていきたいと思っております。

委員： わかくさ幼稚園の園庭は確かに広いですが、仮に現地建て替えがあった際に、もしくはパターン2の場合でも同じですが、仮園舎をわかくさの園庭に建てられる規模なのかどうか、もしそれならば他の土地を改めて確保する必要も無く、保護者も送迎を同じ場所にできますが、ギリギリすぎるとやはり子どもが危ないかとも思います。その辺りはいかがでしょうか。

事務局： シミュレーションの中では、わかくさ幼稚園の敷地の中に仮園舎を建てて、それから古い校舎を壊し、新園舎を建築するという事は可能です。

委員長： 他にはいかがでしょうか。色々ご意見を出していただいて、今後の細かな検討を進めていければと思います。

委員： やはり保護者が働き始めていて、預かりが全く無いバス通園ということで、そこがネックになってきている保護者が多いと感じています。もしこども園に出来るのであればそうしていただきたいですが、それに伴って広さや先生の確保など、金額にしてもこれよりもっとかかってしまうかなど、その辺りについて教えていただきたいと思います。

委員長： これも即回答というわけにはいかないとは思いますが、新しい形に持っていく場合には状況としてはどうなのでしょう。予算の面もありますので。

事務局： 今回の市内では、谷和原幼稚園と谷和原第二保育所が1つの敷地内にあります。これについては、認定こども園形式を取っておりません。幼稚園は幼稚園、保育所は保育所での合体した施設と敷地になっております。そのように、1つの敷地内でのお望みなのか、または認定こども園という形でのものをお望みなのかということになってくると、これは保育所にも関わってくるものなので、即答はできず、少しお答えするのに時間がかかります。

委員： もしくは、こども園としての形ではないにしても、預かり保育を付けた場合では全然違うと思いますが、そこも手間なくできるものなのでしょう。

事務局： 幼稚園の場合には、預かり保育というのは土曜日などはありませんから、一緒になった時には保育所のほうで預かり保育ができると良い、というお話しなのかと思いますが、谷和原幼稚園と谷和原第二保育所を、建てた際の資料が今手元にありませんので、すぐにお答えすることができません。

委員： ただ、イメージは、谷和原幼稚園というよりはふたば文化幼稚園のような、一体型で、学年で一緒に保育をし、帰る子と帰らない子というぐらいの差しかないようなこども園を想像しております。

委員長： 谷和原幼稚園の場合には保育園と幼稚園が同じ場所にありますが、別の組織で動いているという形ですね。また、認定こども園になると保育の問題が一緒になってくるということです。机上にはまだ乗っていない様々なタイプの検討ということになりますので、ご意見としていただいて、新たにその辺りのところに検討の幅を広げていくということになろうかということですね。その他にはいかがでしょうか。

事務局： それでは事務局より少しご提案させていただきたいことがあります。

委員長： では事務局より提案ということですので、伺いたいと思います。

事務局： アンケートの中では耐震補強が多い結果となりましたこと、只今ご説明した通りでございますが、実際のところ、今の話し合いの中にもありましたように、使い勝手が悪いというご意見もございましたので、今回アンケートの結果や、本日の委員の皆様のご意見等を踏まえまして、両園で一度持ち帰っていただき、検討委員会の中でこのような話

があったということを来年度の新 PTA 役員さんも交えて検討していただき、次回第 4 回の再整備検討委員会に、こういう意見が幼稚園ではありましたというようなことで報告していただければと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長： 事務局から話がありましたが、沢山のご意見を頂いて、そしてさらにはその色々なご意見を持ち帰っていただくということです。それから、今日出された資料にも、パターンが 10 個ほど提案されております。それにわかき・すみれ幼稚園の各園長先生からも、現況ということで喫緊の課題なども出されましたので、アンケートの結果、そしてアンケートの付帯意見、整備の問題などそういうものも含めて、各幼稚園の PTA のほうに持ち帰っていただきたいと思います。さらに新年度になり、PTA の役員の方も替わることになると思いますので、引継ぎ等も十分にその中でやっていただいて、遺漏なく引継ぎがなされて次の検討委員会に移ればと思います。

事務局： 今回どのような意見が出たかということ、議事録として両園の PTA 会長の委員の方にお渡しし、それを元に話し合いをしていただければと思います。

委員長： よろしいでしょうか。それではこの検討も議事録でお渡しできるということですので、それを元にし、幼稚園で PTA の役員の方含めて検討していただき、そしてそれをご意見としてまた持ってきていただくということをお願いしたいと思います。それではその他に移ります。

事務局： 5. その他

今後についてですが、本来ならば今年度中に 5 回の検討委員会を実施して結論を出すというタイムスケジュールをお渡ししておりました。しかしアンケート実施等に時間がかかってしまったことから、5 回の検討委員会を開催することができませんでしたので、引き続き、来年早々に第 4 回の再整備検討委員会を開催したいと考えております。

また、新年度には、人事異動や両園の新 P T A 会長が就任されるかと思われませんが、つくばみらい市立わかき幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会設置要綱第 4 条により「委員の任期は、わかき幼稚園及びすみれ幼稚園の再整備が完了するまでとする」となっておりますので、委員の皆様には引き続きよろしく申し上げます。

では今後、両園でご意見をまとめていただき、まとめた段階でご連絡をいただければその後に検討委員会を開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

委員長： 少し時間が長くなりますが、検討をよろしく願いしたいと思います。それでは以上で本日の議事は終了いたしましたので、議長職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局：

6. 閉会

それでは中島委員長ありがとうございました。また、委員の皆様方には長時間にわたり貴重なご意見・ご審議ありがとうございました。以上をもちまして第3回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会を閉会といたします。どうもありがとうございました。

< 終了 >